

木部

公共仕様No.
DNT-改修・5-1-02

7章5節：クリヤラッカー塗り(CL) クリヤラッカー塗り

使用材料一覧表

| 規格 一般名称 | 商品名 | ホルムアルデヒド 放散等級 | 希釈剤 |
|--------------------------------------|------------|------------------|-------------|
| 1 社内規格 ^{※1} ニトロセルロースラッカー | DNTラッカーECO | — | ラッカーシンナーECO |

※1: JIS K 5531の性能試験項目には社内試験で合格していますが、当社ではJIS K 5531の新JISを取得していません。

塗装仕様

表7.2.1 木部の下地調整【RB種】

| 工程 | 塗料その他 | | | 面の処理 |
|------------|-------------|------|----|----------------------------------|
| | 規格番号 | 規格名称 | 種類 | |
| 1 既存塗膜の除去 | — | | | スクレーパー、研磨紙等により、劣化部分を全面除去し、活膜は残す。 |
| 2 汚れ、付着物除去 | — | | | 木部を傷つけないように除去し、油類は溶剤等でふき取る。 |
| 3 研磨紙ざり | 研磨紙P120～220 | | | 露出素地面、既存塗膜面を研磨する。 |

(注) 1.木部に新規に塗装を行う場合は、RA種(不透明塗料塗りの場合)又はRB種(透明塗料塗りの場合)とし、工程1を省略し、工程2と3の間にやに処理を行う。

2.やに処理は、やにを、削り取り又は電気ごて焼きのうえ、溶剤等でふき取る。

3.ラワン、しおじ等導管の深いもの場合は、必要に応じて、工程2ののちに塗料製造所の指定する目止め処理を行う。

表7.5.1 クリヤラッカー塗り【A種】

| 工程 | 商品名 | 色相 | 混合比率 (重量比) | 希釈率(%) (重量比) | 塗装方法 | 塗付け量 (kg/m ² /回) | 塗装間隔 (20℃) |
|----------------|----------------------------|-------|---------------|-----------------|------|--------------------------------|---------------|
| 1 下塗り | ウッドシーラー [※] | クリヤヤー | — | 適量 | スプレー | 0.10 | 2時間以上 |
| 2 目止め | 目止め剤 | | | | | | 乾燥後 |
| 3 中塗り | サンジング [※] シーラー | クリヤヤー | — | 30～100 | スプレー | 0.10 | 2時間以上 |
| 4 研磨紙ざり | 研磨紙P220～240 | | | | | | 清掃後 |
| 5 上塗り (1回目) | DNTラッカーECO | クリヤヤー | — | 60～100 | スプレー | 0.10 | 40分以上 |
| 6 研磨紙ざり | 研磨紙P240～320 | | | | | | 清掃後 |
| 7 上塗り (2回目) | DNTラッカーECO | クリヤヤー | — | 60～100 | スプレー | 0.10 | 40分以上 |
| 8 仕上げ塗り | DNTラッカーECO | クリヤヤー | — | 60～100 | スプレー | 0.09 | — |

(注) 着色兼目止めとする場合は、工程2を省略する。

※ ウッドシーラー、サンジングシーラーは弊社では製造していません。ご了承ください。

7.2.2 木部の下地調整

(a)木部の下地調整は、表7.2.1により、種別は、特記による。特記がなければRB種とする。

(b)透明塗料塗りの下地調整は、RB種による。ただし、既存塗膜は全面除去する。また必要に応じて、表7.2.1の工程を行ったのち、次の工程を行う。

(1)着色顔料を用いて着色兼目止めをする場合は、はけ、へら等を用いて、着色顔料が塗面の木目に十分充填するように塗り付け、へら、乾いた布等で、色が均一になるように余分の顔料をきれいにふき取る。

(2)着色剤を用いて着色する場合は、はけ等で色むらの出ないように塗り、塗り面の状態を見計らい、乾いた布でふき取って、色が均一になるようにする。

(3)素地面に、仕上げに支障のあるおそれがある甚だしい色むら、汚れ、変色等がある場合は、漂白剤等を用いて修正したのち、水ぶき等により漂白剤を除去し、十分乾燥させる。

7.5.2 クリヤラッカー塗り

クリヤラッカー塗りは表7.5.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

注意事項

* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。

そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。